

SGH連絡会 分科会資料①

大阪教育大学附属高等学校平野校舎
SGH委員長 松田 雅彦

多面的に“いのち”を考えるグローバルリーダーの育成

本校において重視する「4つの力」

課題解決力 コミュニケーション力 多文化理解力 セルフマネジメント力



教科

教養重視
高校学習内容
の徹底

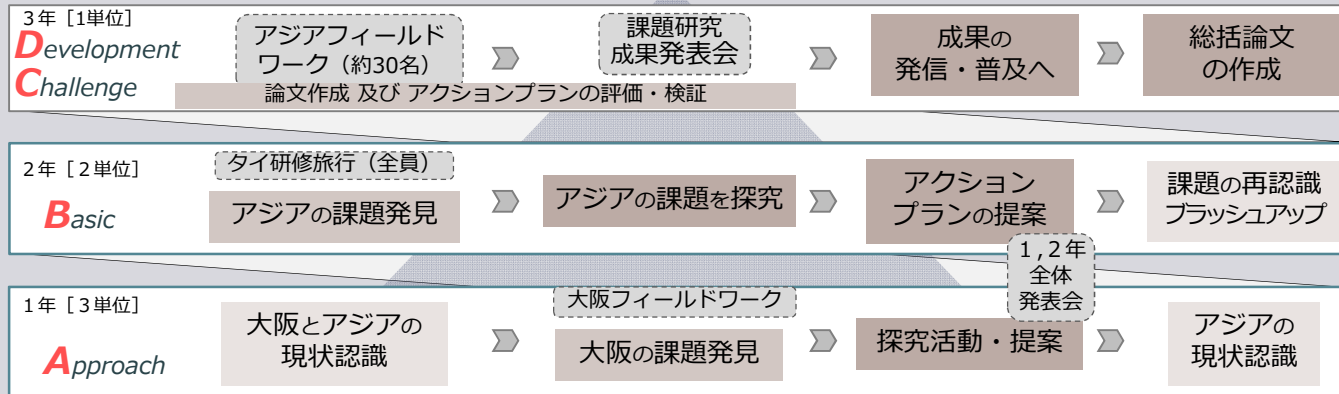
アクティブ・
ラーニング
の導入

学校設定科目
の新設

(1年)
「生命の倫理」
「公共と経済」

課題研究

大阪・アジアをステージとする課題研究・フィールドワーク



評価方法 の開発

「4つの力」
を測定するための
・ルーブリック項目
・独自の評価指標

大阪教育大学
アセスメントグループ
(仮称)
との連携・共同開発
大教大スマートフォリ
オシステムを活用

いのちをつなぐ

母子手帳 感染症
医療・保健
高齢者介護

いのちを守る

地震・洪水 防災マップ
防災・減災
強靱なくにつくり
まちづくり

いのちを支える

フレアド 児童労働
格差・貧困
経済的
自立支援



附属高校他校舎
との生徒交流学習

附属平野中学校の
総合学習
(1~3年)
との指導法接続

国内連携先

大阪大学 (協力協定締結)
人間科学部、国際医療センター
Global Collaboration Center 等
関西学院大学
総合政策学部

大阪教育大学

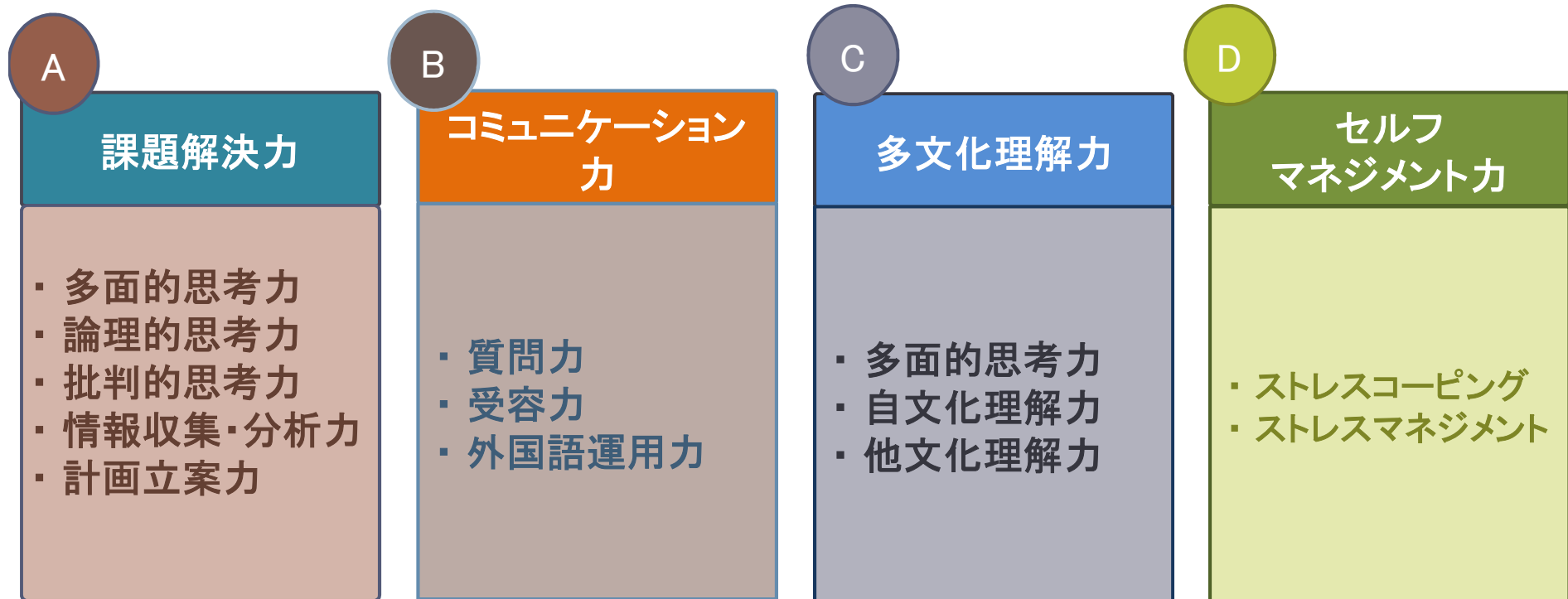
京都大学
レジリエンス研究ユニット
地球工学科国際コース

サラヤ(株)
(有)ビッグイシュー日本
(公社)日本WHO協会
大阪市危機管理室
NPO法人釜ヶ崎

海外連携先

大阪大学ASEANセンター(タイ) トリアムウドムスクサ高校
感染症共同研究センター(タイ) (タイ、協定校)
EDF-Thai マカティサイエンススクール
ボルネオ保全トラスト 等 (フィリピン)
高雄師範大学附属高級中学
(台湾、協定校)

平野校舎SGH「4つの力」



※ 「個人として習得すべき力」と「他者との関係により身につく活用・探究力」で構成

目標分析による学力整理により「課題研究」「教科」「特別活動」が連携できるようになった！

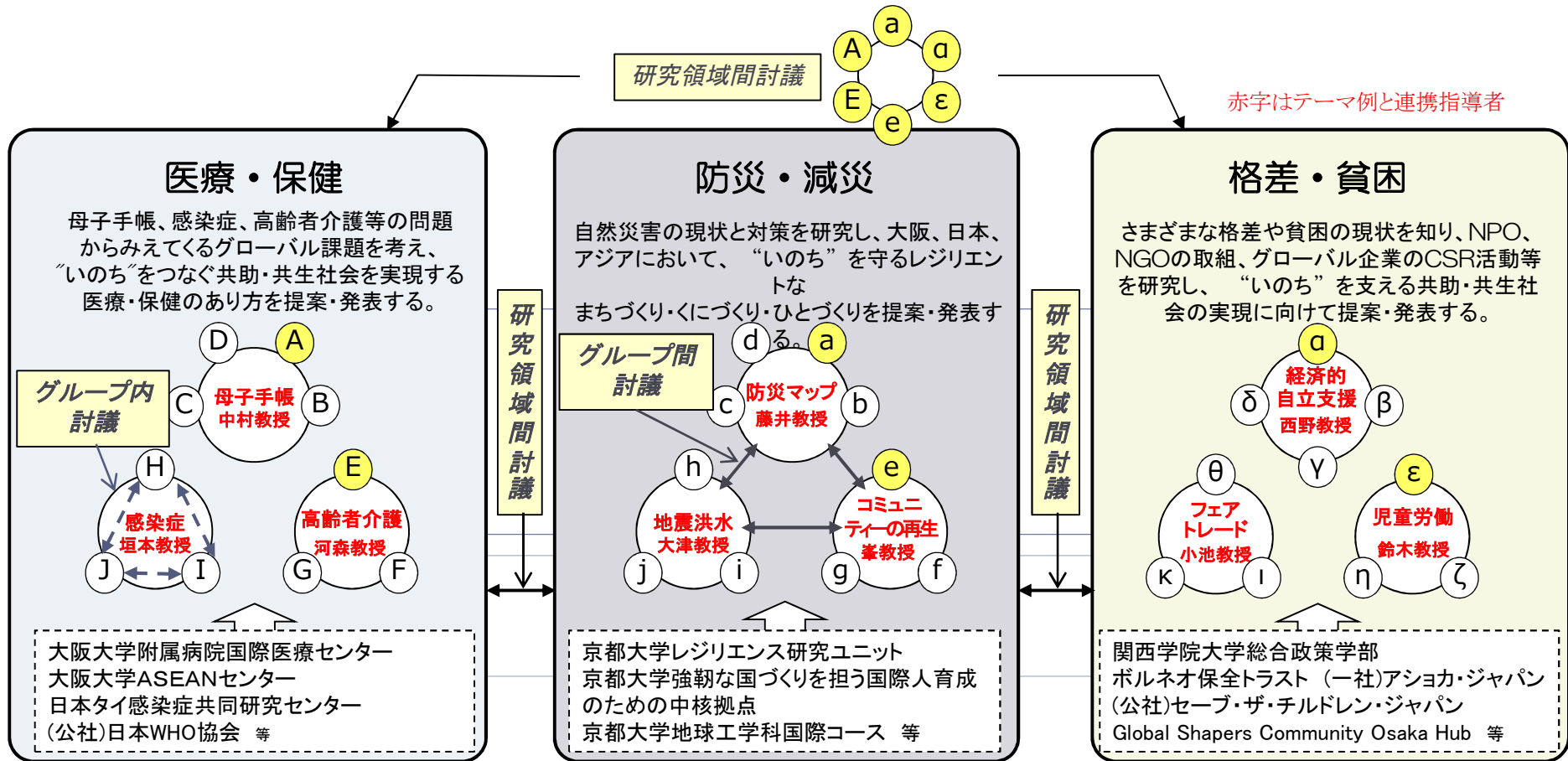
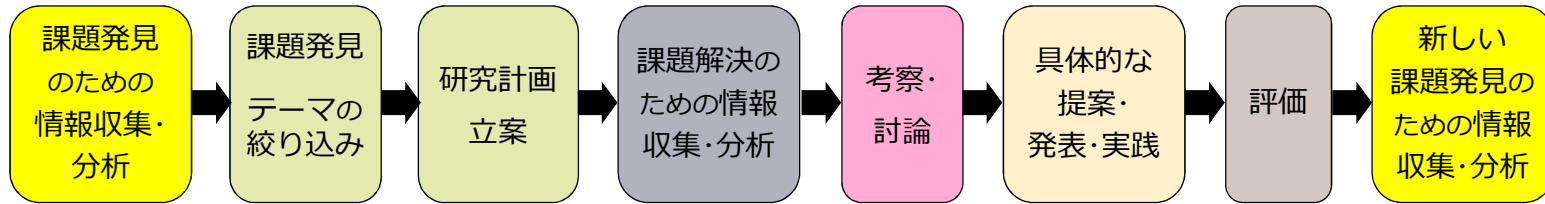
バリエールーブリックの開発

表 6-2 平野版バリエールーブリック (試案) 1/4

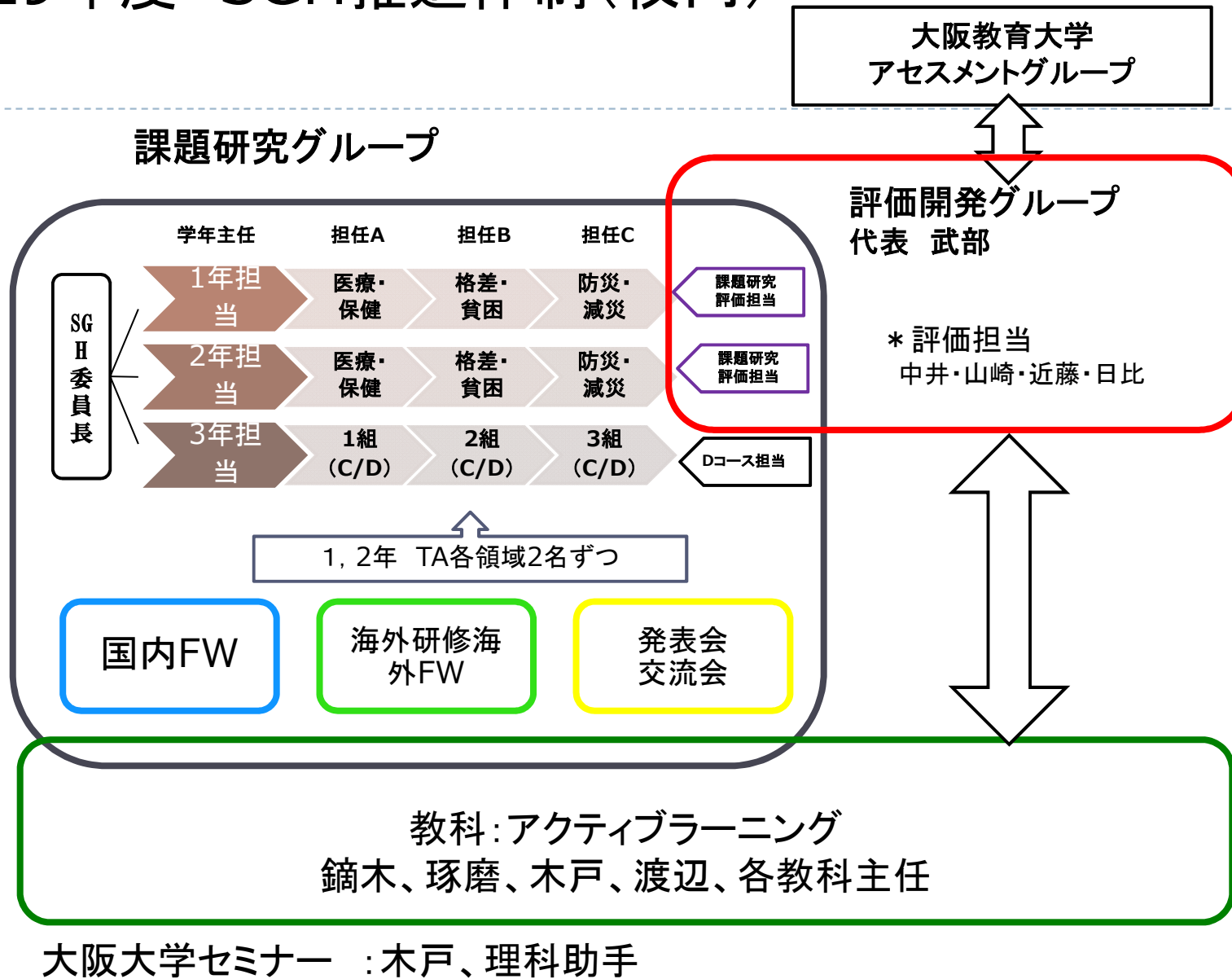
A. 課題解決力		山頂 4	八合目 3	五合目 2	登山口 1
評価段階	評価項目				
	(課題解決における) 多面的思考力	物事にさまざまな視点や考え方があつたことを理解し、多面的な考え方を咀嚼して、自分の課題解決の考え方の形成につなげようとしている	物事にさまざまな考え方があつたことを理解し、さらに多面的な考え方がないが「知ろう」「わかろう」としているが、うまく課題解決と結びついていない	学習した考え方に加え、それと対になる考え方を理解しているが、さらに多面的な考え方を知ったり、自分で課題解決法を考えたりしようとしな	学習した考え方しか知らず、物事を多面的に理解しようとしていない
	論理的思考力	多面的な考え方を評価し、少数者の立場も考慮した課題解決について、話し合いや意見調整に取り組むことができる	多面的な考え方を評価する気持をもつが、少数者の立場も考慮した課題解決についてある程度議論できる	多面的な考え方があることは理解できるが、少数者の立場への理解は少ない	物事を賛否や多数決で決めようとする (少数者の立場への理解がない)
	批判的思考力	多面的な考え方を比較検討し、そこから生まれた自身の課題解決の考え方を論理的に説明できるとともに、それを横に広げて、より普遍的な課題解決を考え、それを説明することができる	多様な考え方を比較検討し、そこから生まれた自身の課題解決の考え方を論理的に説明できるが、それを横に広げ、より普遍的な課題解決に結びつけたり、それを説明するには至っていない	学習した考え方をもとにそれと対をなす考え方を説明することができるが、多面的な考え方から自身の課題解決の考え方を補強したり、考え方の論理的な説明は不完全である	学習した考え方を活用することができるが、思考が浅く、自分の気分で結論をつくらうとするため、論理的に説明できない
	批判的思考力 分析力	多面的な考え方について、批判的にとらえることができ、優れた課題解決の考え方を構築しており、他者の批判に耐える論理的説明力・説得力がある	多面的な考え方について、批判的にとらえることができ、課題解決の考え方を構築しているが、他者の批判に耐える論理的説明力・説得力はない	学習した考え方と対になる考え方について、批判的にとらえることはできるが、それが課題解決にうまく結びついていない	学習した考え方を鵜呑みにする傾向がある
	情報収集力	幅広い媒体から情報を集めることができるとともに、情報の価値の多様性や情報の正確さをつかみ、情報の重要度によって有効な情報を選別することができる	幅広い媒体から情報を集めることができるとともに、情報の価値の多様性や情報の正確さをつかむことができるが、重要度による情報の選別には至っていない	インターネットや書籍などの文献を使い幅広い媒体から情報を集めることができるが、情報を鵜呑みにするところがある	インターネット等を使い情報を集めることができるが、情報を集めることが大切であるという意識が低い
	計画立案力	課題に適合した目標設定・研究計画が策定でき、先を見据えた調整や周囲に対する働きかけによって、目標達成のための解決力も備わっている	課題に適合した目標設定や研究計画の策定ができ、ある程度の実行力もあるが、先を見据えられておらず、臨機応変に対応する能力に欠ける	目標や研究計画の設定はできるが、綿密に物事を進めるものになっていない。	目標を自分で決められず、話し合いの中で目標設定や研究計画について自分の意見が出せない

評価段階1(登山口)にも到達できていない場合には、0の評価を付ける

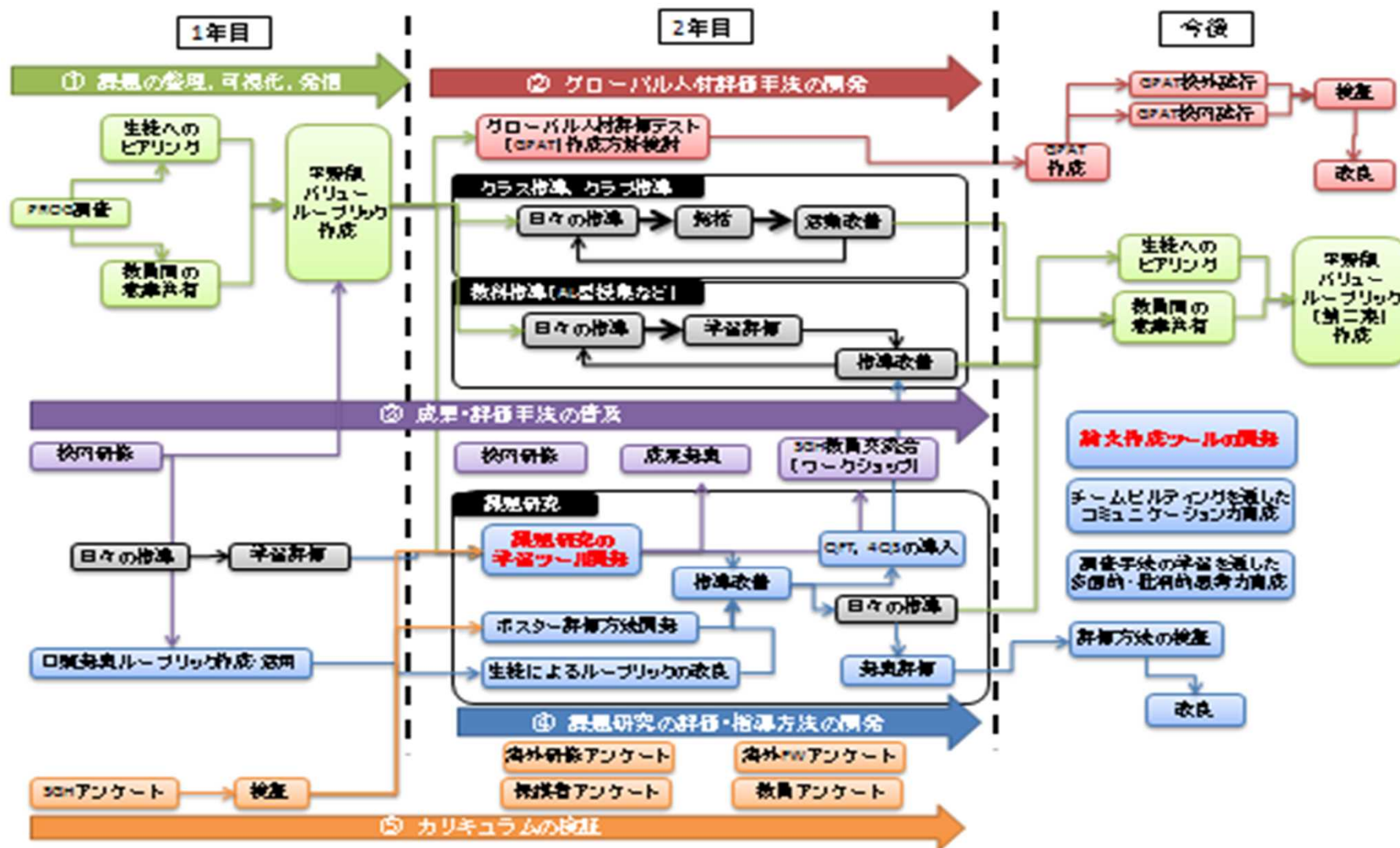
※本校が考える課題研究のプロセス



平成29年度 SGH推進体制(校内)



評価開発チャート



平野メソッド① 「4つの学習ツール」

▶ 情報カード

個々の生徒が収集した情報を事項毎に1枚に記入するB6判カード。情報の集約や分類が可能。個人の活動評価資料としても活用

▶ ミニマムリスト

主題、副題、仮説、考察など探究活動に最小限必要な14の要素を記入する表

▶ ブリッジシート

生徒が記録したミニマムリストの内容を発表用ポスター作成へと反映させるシート

▶ チェックリスト

ポスター作成後、チェックポイントに沿ってポスター構成の工夫を記録するシート

▶ 課題研究進捗状況表

ミニマムリストの内容を班ごとにまとめたものであり、この進捗表を元に教員が指導



耐震、免震のデメリット

個人通し番号により、個人が集めた情報の量がわかる

No. (201)

耐震のデメリット

地震の揺れが建物に伝わる



家具の転倒(9A)、地震のたびに建物の損傷(10)

免震のデメリット

コスト (350万 ~ 550万)

地盤によ、ては設置不可

情報源を記しておくことで再検索が容易となる



情報源

ハウスメーカーHP <http://www.hng.ne.jp/knowledge/article/212/1/>

記入日 (2016.9.1)

記入者 (

名前



ミニマムリスト

年 月 日 作成 No.

課題研究のための自己評価ワークシート(《平野校舎研究ミニマム》点検リスト) 年 組 番 氏名

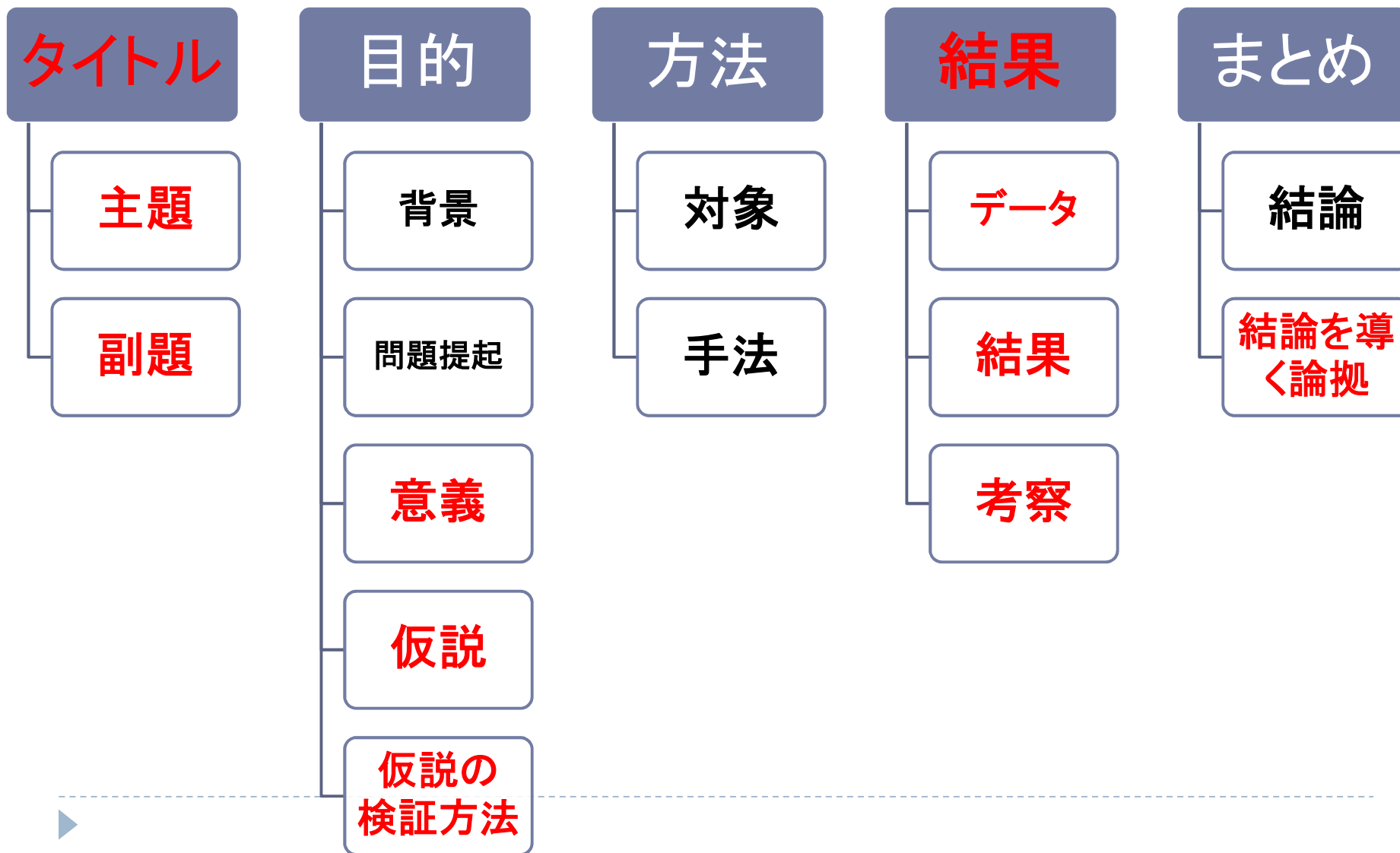
	②現時点での自己評価。できている項目にチェックを入れよう (今後の研究の進展によって修正することはあります)	①実際にレジュメに載せる内容(文章・図版)を具体的に書き記そう
タイトル	1□ 《主題》 どのような問題に取り組むのかが伝わるタイトルであるか《問題提起》 2□ 《副題》 問題解決の着眼点(オリジナリティ)が伝わるタイトルであるか	1 2
目的(研究概要)	3□ 《背景》 研究の出発点になる現状・事実を述べているか 前提となる客観的な事柄や情報。「こういう現象やこういう事実がある」と前もって述べることで次の問いかけが生きる。 4□ 《問題提起》 どのような問題に取り組むのか(●) 5□ 《意義》 どうしてその問題に取り組むのか、その理由の説明がなされているか その問題が「問題である理由」の説明。解決が必要な理由、どうして疑問なのか、不思議なのかを説明。あなただけのローカルな興味にとどまるのではなく、他者にも興味深く、意義深いグローバルな課題であることを説得できるとよい。 6□ 《仮説》 どのような着眼(アイデア、切り口)で、その問題の解決に取り組むのか 仮説とは取り組む問題に対する解答の予測のこと。あなたがこの研究においてオリジナリティを持てる部分である。 7□ 《仮説の検証》 何をやるのか、この研究で実際に行うことは何か あなたはこの研究で具体的に何を示せば、仮説を検証したことになるのか。問題を解決したことになるのか考えよう。	3 4 5 6 7
方法	8□ 《対象》 調査対象は何か 9□ 《手法》 実験・観察・調査方法は何か	8 9
結果	10□ 《データ》 仮説を支持する数値・図表はあるか、比較や対比できる資料・情報はあるか 11□ 《結果》 データ(数値・図表)を言葉に翻訳したもの、ポスターではそれが一文で正確に表現されているか 12□ 《考察》 複数の結果から解釈・議論(推論)したもの、ポスターではそれが一文で正確に表現されているか あなたの主張は信頼度の高い証拠に基づいているか。証拠から科学的論理的に導かれない先入観が割り込んでいないか。あなたが主張したい解釈以外の可能性を見落としていないか。共同研究者以外の他者の多様な意見に耳を傾けよう。	10 11 12
まとめ	13□ 《結論》 取り組む問題への解答(▲) が書かれているか。提案型には今後の発展や課題にも言及できるか 14□ 《結論を主張できる ^{エビデンス} 根拠》 《証拠となるデータ》 - 《結果・考察》 - 《結論》まで論理の飛躍はないか。●から▲まで一本につながるか 15□ 《蛇足》 上記の14項目以外に、なぜ書いているのか自分で説明できない不必要なものは書いていないか	13 14

点

③研究の進捗度を点数化。チェックを入れた項目を数えて点数を記入しよう

④今後の研究計画の再検討。足りない内容を充実させるために15の項目ごとに、「いつまでに何をすればよいか」を赤色で記入しておこう

調べ学習と課題研究（ミニマムリストの構造）



課題研究進捗状況表

44期生 課題研究進捗状況評価表		☆ ○印と色によって、各班の進捗が判別できる。教員は、○印がない班や、単色の班(1度書き入れたがその後進んでいない班)を重点に指導する。													
領域	班	タイトル		目的(研究概要)						方法		結果		まとめ	
		①(主題)	②(副題)	③(背景)	④(目的)	⑤(意義)	⑥(仮説)	⑦(方法)	⑧(対象)	⑨(手法)	⑩(データ)	⑪(結果)	⑫(考察)		⑬(結論と主張できる程度)
		色無し⇒9月1日チェック 水色⇒9月8日チェック ピンク色⇒9月15日チェック													
防災・减灾	1	チャオプラヤ川の洪水対策													
	2														
	3														
	4	初期救助の改善	災害時の物流を管理しよう												
	5	避難ロード													
	6	全ての被害から身をを守る	海床都市！最強伝説！												
	7	東南アジアの雨	まるでお風呂の栓を抜くように												
	8	耐震、免震よりも良い家はあるか	地震がきて壊れても大丈夫な家												
	9	東南アジア圏のテロ対策について	最先端のテロ対策との比較												
格差・貧困	1	脱貧困のための教育プログラム	認知心理学の視点から												
	2	移民問題	世界の移民事情について												
	3														
	4	OPF(ノンバクトプリフェクチュ)化計画！	日本衛生、財政の健全化												
	5	スモーカーマウンテンの連続な現状の改善	スウェーデン式廃棄物処理法												
	6	タイの子どもの教育における格差	教育に対する価値観												
	7	アジア諸国の国内格差	知られざる貧困と理想の社会												
	8	Nesob	タイ版												
	9	貧困を考える	世界と教育の側面から考えていかに貧困を減らしていけるか。												
医療・保健	1	糖尿病と生活習慣	タイにおける糖尿病の現状と拡大の防止策												
	2														
	3														
	4	母子健康手帳	大人になっても大切に！												
	5	狂犬病	発展途上国と日本												
	6	検診	あなたは元気ですか？												
	7														
	8	アジアの生活習慣病													
	9	医療福祉を見直そう	医療格差のない世界を目指して												

ミニマムリストの項目

最も指導が必要な班

活動が滞って

二番目に指導が必要な班

網掛けは、活動が進んでいない班

ブリッジシートからポスターへ

ミニマムリストからポスター作成へのブリッジシート

2年 領域 医療(保健) 5班 メンバー 村上海良 笠元下穂 木川原

- (1) 今回の発表で最もPRしたい内容を文章でまとめよう。
- 世界で活動している mission babies が長期的に活動するためのにはどうしたいかを考え、それを支える障害と解決する方法を提案する。
 - まずは教育に力を入れて、多岐にわたる活動することによって大人に安心感を長期で持つよう来賓に対しての知識をまとめていることが当り前の課題を制作したい。
 - 目標達成に必要な解決策なども考えていく。
 - 世界で活動している国の風潮に合わせて変えていく方向を考慮する。
- (2) 今回の発表を聞いた人からでてくる質問をできるだけ多く予想して、その答えを書きためよう。
- ワクチンの対象を人にするのは考えにくい。→ 人にしても、まず、人がかかるといふことが、感染に対するリスクが薄いため、ワクチンとFTとはいい、喉まくを打つのは年回ほど打つておかない方がいい。感染のリスクも打つておかない方がいい。→ 喉まくは、年々減らしていく。→ 喉まくは、年々減らしていく。→ 喉まくは、年々減らしていく。
 - 人に感染をうつすのは、意味がわからない。→ 喉まくは、年々減らしていく。
 - 喉まくは、年々減らしていく。→ 喉まくは、年々減らしていく。
 - 喉まくは、年々減らしていく。→ 喉まくは、年々減らしていく。
 - 喉まくは、年々減らしていく。→ 喉まくは、年々減らしていく。
 - 喉まくは、年々減らしていく。→ 喉まくは、年々減らしていく。
 - 喉まくは、年々減らしていく。→ 喉まくは、年々減らしていく。
- (3) 手順①~③にそって、ポスターの構想をまとめ、右の枠にスケッチをしてみてください。
- ミニマムリストの項目を見て、どこに何を書くのを考え、枠で囲っていきましょう。
 - 枠の中にミニマムリストの項目の番号1~14を記入します。
 - 具体的に内容を一文でまとめて書いておきましょう。

インドの狂犬病

インドの狂犬病の現状改善を目指す。現在のインドでは、毎年50万人が狂犬病で死亡している。これは、世界の他の国々よりも高い割合である。この問題を解決するために、私たちは、まず、狂犬病の原因を調査し、それを防ぐための対策を講じる必要がある。また、狂犬病の症状や予防法についても、多くの人に知らしめる必要がある。さらに、狂犬病の撲滅を目指すためには、動物の飼育環境の改善も重要な課題である。

インドは、狂犬病の発生率が高い国である。これは、動物の飼育環境の悪化や、狂犬病の撲滅に向けた取り組みの不足によるものである。したがって、インドの狂犬病問題を解決するために、まずは動物の飼育環境の改善を最優先とする必要がある。また、狂犬病の撲滅に向けた取り組みとして、動物の飼育環境の改善だけでなく、狂犬病の症状や予防法についても、多くの人に知らしめる必要がある。さらに、狂犬病の撲滅を目指すためには、動物の飼育環境の改善も重要な課題である。

現在、狂犬病はインドで年間約50万人の犠牲者を出している。これは、世界全体の狂犬病による犠牲者の約80%を占めている。この問題を解決するために、私たちは、まず、狂犬病の原因を調査し、それを防ぐための対策を講じる必要がある。また、狂犬病の症状や予防法についても、多くの人に知らしめる必要がある。さらに、狂犬病の撲滅を目指すためには、動物の飼育環境の改善も重要な課題である。

犬の飼育環境の改善は、狂犬病の撲滅に向けた取り組みとして、最も重要な課題である。犬の飼育環境の改善には、犬の飼育環境の悪化を防ぐこと、犬の飼育環境の悪化を防ぐこと、犬の飼育環境の悪化を防ぐことが重要である。また、犬の飼育環境の改善には、犬の飼育環境の悪化を防ぐこと、犬の飼育環境の悪化を防ぐことが重要である。さらに、犬の飼育環境の改善には、犬の飼育環境の悪化を防ぐこと、犬の飼育環境の悪化を防ぐことが重要である。

Mission Babiesは、インドの狂犬病問題を解決するために、動物の飼育環境の改善に取り組んでいる。私たちは、動物の飼育環境の改善に取り組んでいる。私たちは、動物の飼育環境の改善に取り組んでいる。私たちは、動物の飼育環境の改善に取り組んでいる。私たちは、動物の飼育環境の改善に取り組んでいる。

写真 → 写真 → 写真

地域 → 地域 → 地域

犬の飼育環境の改善は、狂犬病の撲滅に向けた取り組みとして、最も重要な課題である。犬の飼育環境の改善には、犬の飼育環境の悪化を防ぐこと、犬の飼育環境の悪化を防ぐことが重要である。また、犬の飼育環境の改善には、犬の飼育環境の悪化を防ぐこと、犬の飼育環境の悪化を防ぐことが重要である。さらに、犬の飼育環境の改善には、犬の飼育環境の悪化を防ぐこと、犬の飼育環境の悪化を防ぐことが重要である。

犬の飼育環境の改善は、狂犬病の撲滅に向けた取り組みとして、最も重要な課題である。犬の飼育環境の改善には、犬の飼育環境の悪化を防ぐこと、犬の飼育環境の悪化を防ぐことが重要である。また、犬の飼育環境の改善には、犬の飼育環境の悪化を防ぐこと、犬の飼育環境の悪化を防ぐことが重要である。さらに、犬の飼育環境の改善には、犬の飼育環境の悪化を防ぐこと、犬の飼育環境の悪化を防ぐことが重要である。

犬の飼育環境の改善は、狂犬病の撲滅に向けた取り組みとして、最も重要な課題である。犬の飼育環境の改善には、犬の飼育環境の悪化を防ぐこと、犬の飼育環境の悪化を防ぐことが重要である。また、犬の飼育環境の改善には、犬の飼育環境の悪化を防ぐこと、犬の飼育環境の悪化を防ぐことが重要である。さらに、犬の飼育環境の改善には、犬の飼育環境の悪化を防ぐこと、犬の飼育環境の悪化を防ぐことが重要である。

グループ 5 班長 村上海良 (担当 1.31) 副班長 笠元下穂

ポスターの評価と指導

狂犬病 ← 犬の管理不良

～狂犬病による死者を減らすために～ 村上睦実 釜元彩花 松原萌華 下樋彩華 奥野真紀

概要
特に死者の多いインドでの現状を改善し、狂犬病による死者を根絶する。今回は具体的な対策を模索した。

インドの現状
2010年 狂犬病による死亡患者(推定) WHOの資料を参考に作成

基本知識(発症するまでの流れ)

課題1 Mission rabiesには穴がある!

課題2 狂犬病について無知

問題点
・ベンキを塗ってもすぐに取れてしまい、どの犬にワクチンをうったか不明。
・1度しかワクチンを打たないので不完全。

首輪をつける!

方法
・首輪をMission Rabies or 政府に寄付。
・ワクチンを打った後、開放する前につける。
・ワクチンを打つ年ごとに首輪の色を変える。

メリット
・ワクチンの重複が防げる。
・免疫力持続期間がすぐにわかる。

調達方法
インドのペット用品企業にCSRを提案をし、犬を傷つけないような首輪の開発。

内容
野犬に注意!
すぐに病院へ!

配布方法
Mission rabiesに提案し、ボランティア活動で訪れた地域の人に配布してもらう。

メリット
・子供と大人の両方が情報を得ることができる。
・実際にボランティア活動を行っている人に配布されることで、リアリティが増す。

正しい知識で身を守ろう!!

人の居住地域で すべての犬にワクチンを打つ!!

インドにおける狂犬病を減らすために。

村上睦実 釜元彩花 松原萌華 下樋彩華 奥野真紀

概要
狂犬病の死者が一番多いインドに焦点をあて、現状を改善し狂犬病による死者を減らすことを目標に対策を練る。①インドで活動しているボランティア団体、Mission rabiesの活動をより効果的にするための策を提案する。②インド人の30%が狂犬病について無知であることや子供が噛まれやすい傾向がある問題を解決するために一目見ただけで危険だとわかる/パンフレットを配布し注意を促すことを提案する。

インドの現状

Mission Rabies
インド・アフリカを拠点とした、ボランティア団体。短期的な活動で犬にワクチンをうつ。

基本知識(発症するまでの流れ)

課題1 Mission rabiesには穴がある!

問題点
・ベンキを塗っても取れてしまい、どの犬にワクチンをうったか不明。
・3年製のワクチンなので不完全であり、定期的にワクチンをうつ必要がある。

首輪をつける!

方法
・首輪をMission Rabies or 政府に寄付。
・ワクチンを打った後、開放する前につける。
・ワクチンを打つ年ごとに首輪の色を変える。

メリット
・ワクチンの重複が防げる。
・免疫力持続期間がすぐにわかる。

調達方法
インドのペット用品企業にCSRを提案をし、犬を傷つけないような首輪の開発。

課題2 狂犬病について無知

論拠
・国民の30%が狂犬病に無知。傷は水洗いでいいと考えている。
・子供が野良犬の近くで遊び餌を与えるため、噛まれやすい。
・国民の40%が犬にかまれた後に病院へ行かない。

子供向けのパンフレットを作る!

Be careful of the dogs!!
Go to hospital!!
Don't feed your dogs by dogs!
Rabies kill you!
The dogs infect you with rabies, by bites.

配布方法
Mission rabiesに提案し、ボランティア活動で訪れた地域の人に配布してもらう。

メリット
・子供と大人の両方が情報を得ることができる。
・実際にボランティア活動を行っている人に配布されることで、リアリティが増す。

長期的、自発的な予防によって 狂犬病による死者をなくす!

出典 missionrabies.com

ポスターに使った技法チェック

ポスター作成のチェックリスト

2 年 領域 医療・保健 5 班 メンバー オナト、奥野、木原、釜元、下村

- 例にならって、セクションごとの「伝えたい内容」と「それを際立たせるために施した修飾」をまとめましょう。
- 最も強調したいセクションについて、セクションの欄に◎を書き入れておきましょう。

セクション	内容	修飾
例)	減災の有効な手段として「家屋の倒壊防止」に着目した。	②⑤⑧
◎背景		
概要	端的に現在起きている問題の改善と、その先の目標について 2行でまとめ、他の文章より文字サイズを大きくした。	① ⑦
現状	ほとんど同じ。少しの説明を加えただけの内容にした。 現状と理解が難しくなるため、分かりやすくした。	③ ⑤ ①
課題1	最初に課題を書くことで、その後の流れが分かりやすい。	③ ④ ① ⑧
アクション1	文字のサイズを変え、その結果といるまでの項目分けをして 分かりやすくした。	④ ⑦ ⑤
課題2	課題1と同じ	③ ④ ⑦ ⑧
アクション2	アクション1と同じ	④ ⑦ ⑤

(修飾の分類)

- | | | |
|------------|------------|---------------------|
| ① 文章を簡略化 | ② 短い句への変更 | ③ イメージ・図・グラフなど |
| ④ 行間や余白の工夫 | ⑤ 仕切り線 | ⑥ 見出しやアイコンなどを目印においた |
| ⑦ 文字サイズの変更 | ⑧ 文字カラーの変更 | ⑨ 文字の種類(フォント)の変更 |

平野メソッド② 「論文作成ツール(開発中)」

- ▶ “いのち”に関する総括論文 作成シート 1
2年間の課題研究の結果を“いのち”に関する課題へと昇華するためのシート。
課題整理と20年後の社会を想定することまでがゴール。
- ▶ “いのち”に関する総括論文 作成シート 2
「作成シート1」で想定した社会の実現に向けた提案をまとめて、“いのち”に関する総括論文の仮テーマを決定するためのシート
- ▶ 論文作成 ブリッジシート
ブリッジシートにある「論文の項目」について「作成シート1・2」を参考にしてまとめる。論文でもっとも言いたい内容を絞り込み正式な研究テーマを決定する。

教員の指導ポイント
がはっきりする

“いのち”に関する総括論文 作成シート 1

“いのち”に関する総括論文 作成シート 1

	自分の研究	参考研究 A	参考研究 B	参考研究 C	参考研究 D
① キーワード (5つ程度)					
① 研究目的					
② 結論(アクションプラン)					
③ “いのち”を守り、つなぎ、支えるために大切なこと					
④ 現状の課題 (①キーワードや③の内容について比較したり、共通項を整理したりして考える)					
⑤ あなたが理想とする、20年後の社会 (日本・世界)					

“いのち”に関する総括論文 作成シート 2

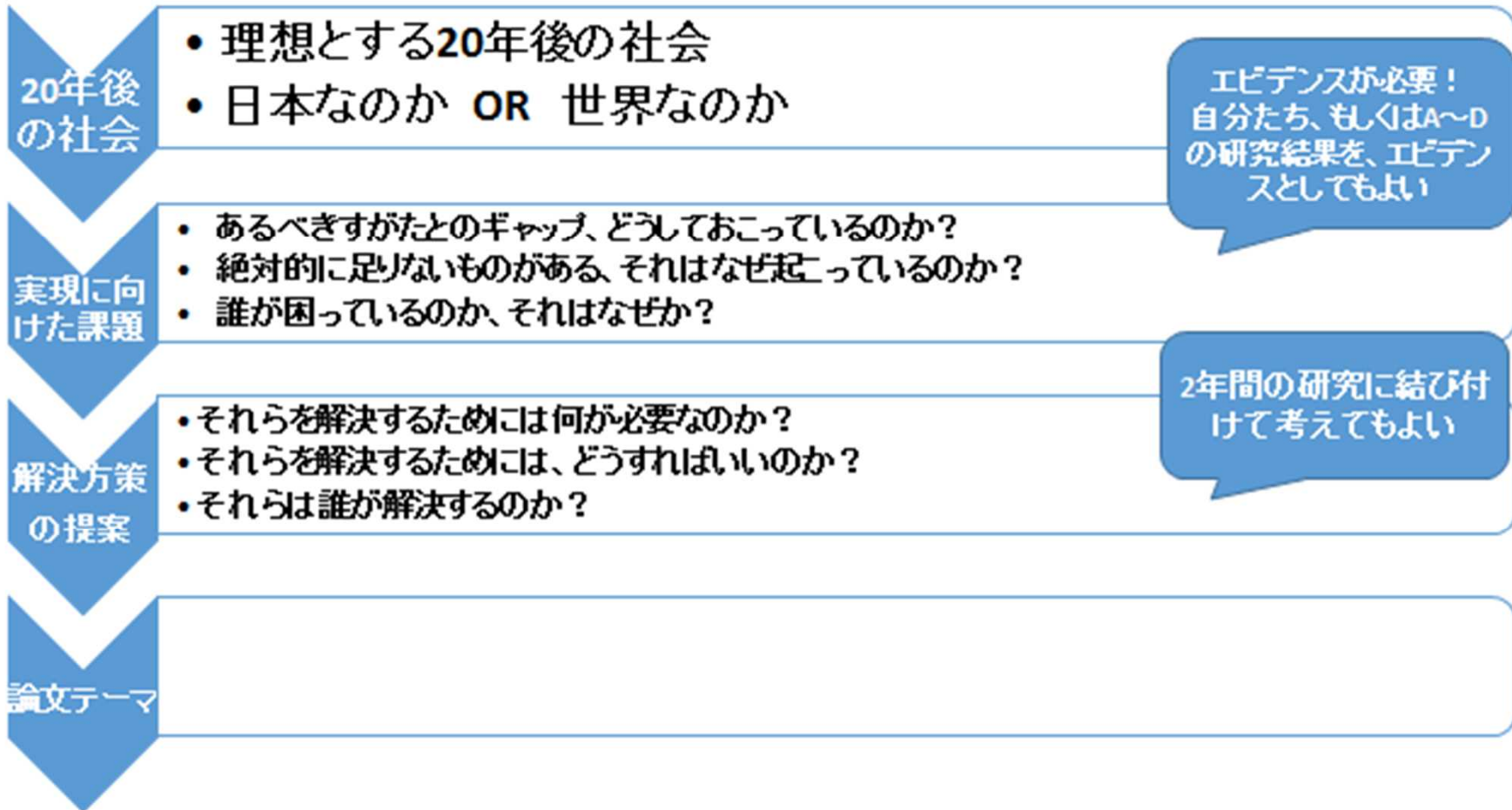
“いのち”に関する総括論文 作成シート 2

20年後の 社会	
実現に向 けた課題	
解決方策 の提案	
論文テーマ (仮テーマ)	



“いのち”に関する総括論文 作成シート 2 (説明用)

“いのち”に関する総括論文 作成シート 2



“いのち”に関する総括論文 ブリッジシート

“いのち”に関する総括論文 ブリッジシート

項目		内容・表現		プロットおよび内容
序論	背景・目的	背景(現状)を述べたうえで、どこが、どのように問題なのか、問題の所在を整理する	そこで、本研究では〇〇〇を明らかにすることを目的とする	
本論	研究方法	平成29年3月『〇〇に関する研究』『△△に関する研究』××に関する研究』…「平成28年度スーパーグローバルハイスクール 生徒課題研究成果資料集」、大阪教育大学附属高等学校平野校舎編を資料とし、比較・分析をおこなう。 その他、平成〇年 月 〇〇(研究論文や本など) 〇〇におけるインタビュー △△のアンケート ◇◇へのフィールドワーク 等	以上により、目的の達成に向かう。	
	結果	“いのち”に関する総括論文 作成シート1の②の結論(アクションプラン)、③を軸にまとめる。 その他、論文を補強するデータや図表、文献などの内容もここに示す。 必ず出典は記載しておく。引用・参考文献・参考資料は最後に記す。引用の場合には、 ¹⁾ と記し、論文の最後に「1)〇〇より」や「1)〇〇P. △」などと書く。		
	考察	「“いのち”に関する総括論文 作成シート1」の④、⑤および「“いのち”に関する総括論文 作成シート2」の課題と解決方法の提案についてまとめて、記す。		
結論	まとめ	論文で言いたいことを端的に一文で表す 「序論」「本論」までに述べていない要素を含めてはいけない 「課題」や「展望」を入れることもある 「結論」の後に、必要に応じて「謝辞」を入れる 最後に「文献リスト」(引用文献・参考文献・資料など)を必ず入れる		
研究テーマ				